

地域特性を活かした地域づくりのための景観評価手法の検討

Landscape Character Assessment method for producing regional character maps

○大野 研\*                      田邊祐里子\*\*  
 ○OHNO、Ken                TANABE、Yuriko

1. まえがき 近年、地域特性を活かした地域づくりが注目されてきている。そこで必要となるのが、地域特性を適切に把握する方法である。地域特性を適切に把握すれば、地域の独自性を生かした地域づくりが行え、地域の魅力が増加すると考えられるからである。また、地域特性を適切に把握しておけば、万が一の大災害の際にも、速やかに地域の魅力を生かした復興地域づくりが行える。英国では、景観特性評価手法 (LCA : Landscape Character Assessment) が提案され、2002 年に評価のためのガイダンスが策定されて以来、着実に実施されてきている。そこで本研究ではその LCA 手法を三重県津市に適用し、地域特性を生かしたエリアマップが作成できるかを検討した。



図1 英国の LCA 手法

2. 方法 英国の LCA 手法の概略を図 1 に示す。基本的に机上調査を行った後に、現地調査を行い、景観特性エリアマップを作成する。机上調査では、図 2 に示す 8 種類の津市の

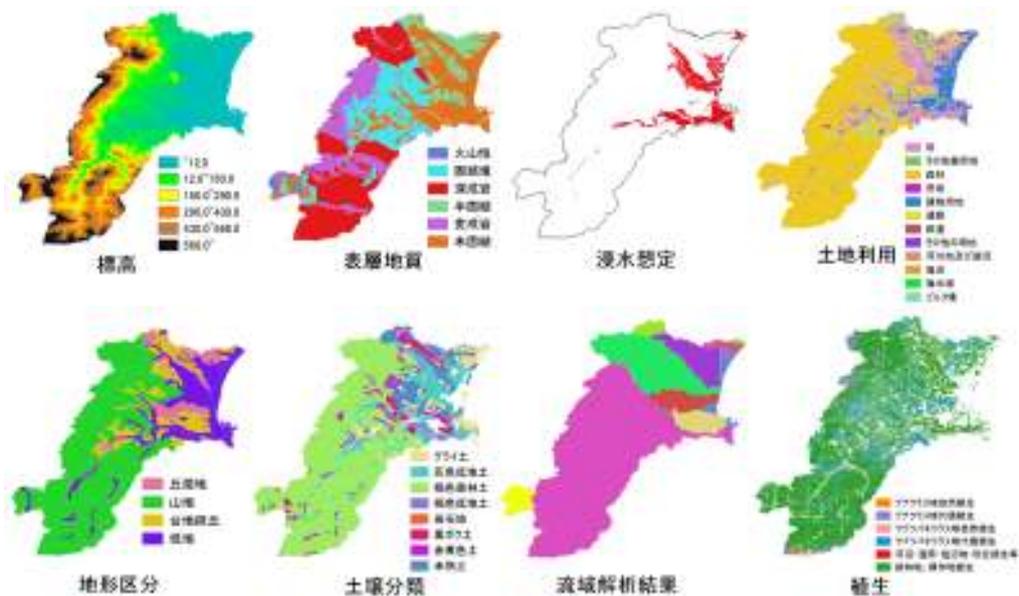


図2 机上調査で収集した8種類の GIS データ

GIS データを収集した。これらを重ね合わせて景観特性エリアマップをの原案を作成した後に、各景観特性エリアごとに複数地点で現地調査を行い (図 3 に現地調査表を示す)、最終的に景観特性エリアマップを作成する。

\*三重大学教養教育機構 Mie University, College of Liberal Arts and Sciences、\*\*愛知県 Aichi Prefecture  
 景観特性、景観特性評価、景観特性エリアマップ

